



デジタルパネルメータ

DIGITAL PANEL METER

Henix

カタログNO.130E

● model M41 DIN24^H×48^W mm

前面パネル IP65 タイプ

- MA41 スケーリングメータ
- MF41 温度計
- MR41 タコメータ
- MJ41 通過時間計



● model M43 DIN36^H×72^W mm

前面パネル IP65 タイプ

- MA43 スケーリングメータ
- MF43 温度計
- MR43 タコメータ
- MJ43 通過時間計



● model M45 / M55 DIN48^H×96^W mm

前面パネル IP65 タイプ

- MA45 スケーリングメータ
- MF45 温度計
- MR45 タコメータ
- MJ45 通過時間計
- MR55 高速タコメータ



MR45

デジタルタコメータ

特長

各種回転センサーやインバータからのモニター信号を入力

- ・パネル前面部が保護構造IP65対応
- ・RoHS2 対応品
- ・入力スピードフィルタは30Hz、10kHz、100kHzから選択可能
- ・時間平均処理に加え、移動平均処理でちらつきを防止
- ・ACタコジェネ、マグネチックセンサー、ラインドライバ入力対応
- ・任意の単位にスケールが可能
- ・20点折線補正(リニアライズ)選定可能(オプション)
- ・電源電圧 AC/DCフリー対応
- ・センサー供給用電源DC12V 100mA標準装備
- ・5桁赤色LED表示(文字高: 14.2mm)
- ・DINサイズ: 48^H×96^W×92^Dmm



回転数・速度・流量表示など

型式構成および入力仕様

MR45 **A** **1** - **5** **C** **T** - **GL**

(注1) リニア出力高速応答(-G)の場合のみ選択可。
(注2) ⑤通信出力付の場合は、選択不可。

① 電源電圧	② 入力信号	③ 比較出力	④ リニア出力	⑤ 通信出力	⑥ オプション
A AC85V~264V E DC11V~48V	1 方形波パルス 2 ACタコジェネ 3 マグネチックセンサー 4 ラインドライバ 90 その他	(無) 比較出力無 5 2点リレー-c接点 6 4点フォトスリラー 2 4点トランジスタ	(無) リニア出力無 A 0~5V B 1~5V C 4~20mA D 0~10V D1 ±10V (注1)	(無) 通信出力無 T RS485通信出力	(無) 無 E DC24Vセンサー供給電源 F DC5Vセンサー供給電源 G リニア出力高速応答 L 20点折線補正(リニアライズ) TM 調光表示付 (注2)

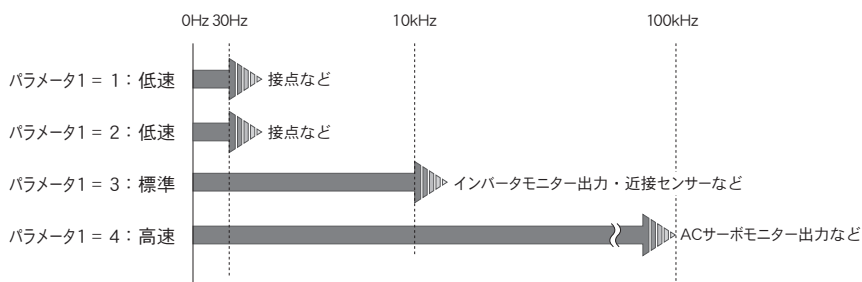
入力仕様

#	入力信号	応答速度	入力レベル	入力インピーダンス
1	方形波パルス	0.001Hz~100kHz	HI: 4V~30V LO: 0V~1.5V ※1	端子①: 10kΩ 端子②: 1.5kΩ ※2
2	ACタコジェネ	10Hz~ 3kHz	0.8~80VAC	450kΩ
3	マグネチックセンサ ※3	0.3Hz~ 30kHz	0.3~12V ^{PP}	210kΩ
4	ラインドライバ	0.001Hz~100kHz	HI: 2V~5V LO: 0V~0.8V	470Ω (ターミネイト抵抗)

精度: ±0.003%rdg±1digit ただし、23°C±5°Cとする。
・応答速度はduty50%の場合とする。

- ※1 応答速度が50kHz以上についての入力信号LOレベルはTTLレベルとします。
- ※2 端子②の入力でNPNオープンコレクタ、2線式センサーご使用の場合は以下のものをご使用ください。(内部は約12V 約1.5kΩで接続されています)
O N時: 残留電圧3V以下 負荷容量7mA以上
OFF時: 漏れ電流2mA以下
- ※3 OFF SET電圧は0V~7Vとします。

使用するセンサーの最大出力周波数やノイズの影響に応じて入力スピード(感度)をパラメータで変更が可能。 1~3段階に変更可能。

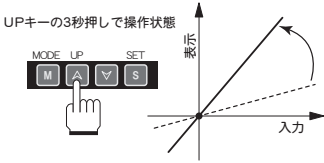


機能説明

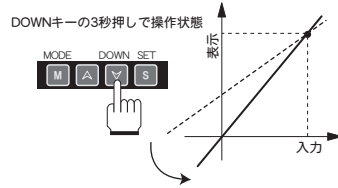
オートスケーリング (MA/MR/MJ)

表示値を見ながら希望の数値に合せ込みます。簡単な操作で微調整が可能。

●上限補正



●下限補正

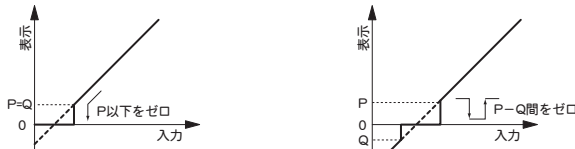


※MRおよびMJは上限補正のみ。

セットゼロ (MA/MR)

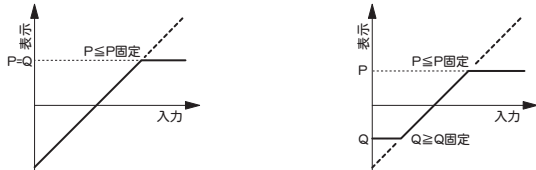
2点の表示値を設定することにより強制的にゼロにする区間(エリアゼロ)を、または不要な領域を固定表示にする区間(リミット)を設定可能。

A: エリアゼロ (2区間をゼロ表示)



※MRはエリアゼロ(設定値以下をゼロ)のみ。

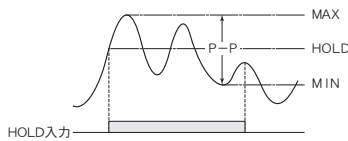
B: リミット (2区間をリニア表示)



ホールド (オプション) (M□45 標準装備)

HOLD ON状態で、4種類のホールド機能が動作します。

設定値	機能
1/11/21	表示値保持 (HOLD)
2/12/22	最大値保持 (MAX)
3/13/23	最小値保持 (MIN)
4/14/24	変動幅保持 (P-P)



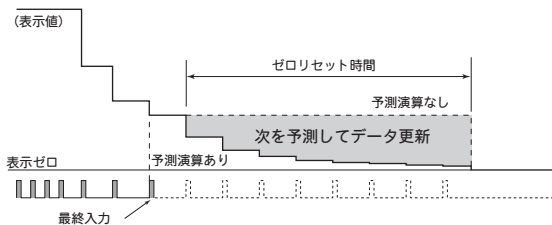
設定値	出力対象
1/2/3/4	ホールド表示値
11/12/13/14	現在計測値
21/22/23/24	ホールド記憶機能

ホールド動作時の出力対象(比較/リニア)の選択、さらにホールド記憶機能の選択可能。

※ホールド記憶機能: [S] キー押しで必要な時にホールドデータの呼出す機能。

予測演算 (MR)

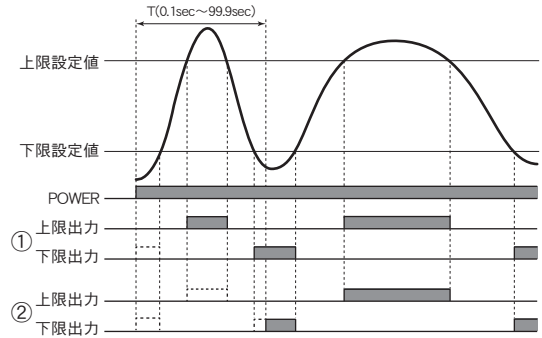
入力停止判定はゼロリセット時間(1~1000秒)で設定します。スローパルスの場合、次のパルスがこのゼロリセット時間待機するので減速していてもデータ更新されません。予測演算機能は減速を検知すると次の入力を予測してデータ更新することが可能です。(データ更新10msec)



比較出力機能 (比較出力付き全機種)

●パワーON出力禁止

電源投入時の不要な警報出力を防ぐ機能です。内容は2タイプを選択できます。



①下限出力禁止

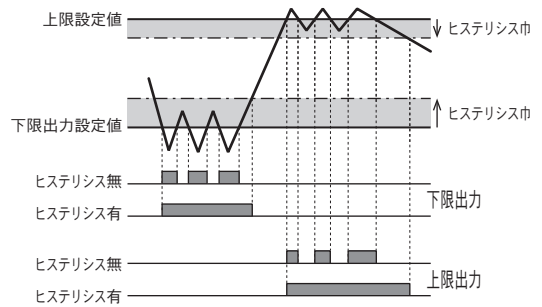
電源投入時の不要な下限出力を禁止します。電源投入後、最初に下限出力OFF領域になった地点より通常動作に戻ります。また、CNT端子ONで電源投入時と同様の効果が得られます。

②SEC機能

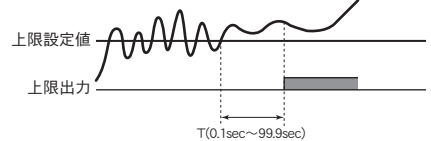
電源投入から任意の時間(T=0.1sec~99.9sec)上下限出力を禁止します。設定時間後、通常動作に戻ります。警報出力のみ禁止し表示値は計測値を表示します。

●ヒステリシス

設定値に巾を設け切れにくくすることにより出力のチャタリングを防ぎます。



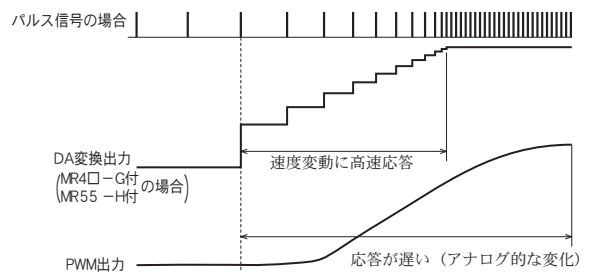
●出力遅延



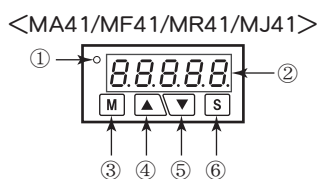
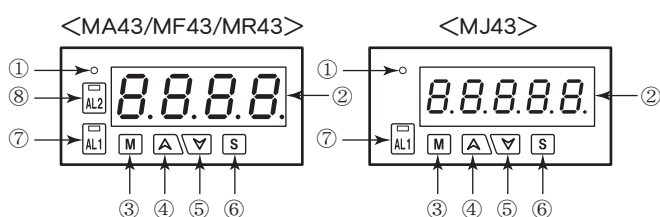
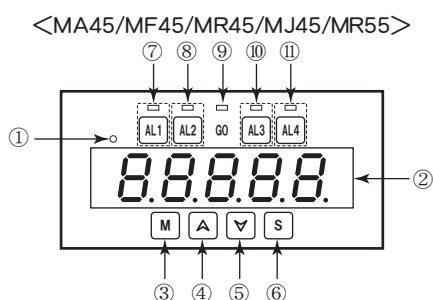
時間設定で出力のチャタリングを防ぎます。継続して設定時間(0.1sec~99.9sec)計測値が出力領域にある場合に出力します。

リニア出力 (リニア出力付き全機種)

リニア出力は、PWM出力と高速出力対応のDA変換出力があります。
 分解能: 40,000 出力信号: 0-5V/1-5V/0-10V/4-20mA/±10V※
 ※±10VはDA変換出力のみ選択可



■ 前面各部の名称



表示部

① ホールドランプ

② 小数点付7セグメント赤色LED

<MA45/MF45/MR45/MJ45> : 5桁 文字高 14.2mm

<MR55> : 6桁 文字高 14.2mm

<MA43/MF43/MR43> : 4桁 文字高 14.2mm

(オプション-K5の場合: 5桁 文字高 10mm)

<MJ43> : 5桁 文字高 10mm

(オプション-K4の場合: 4桁 文字高 14.2mm)

<MA41/MF41/MR41/MJ41> : 5桁 文字高 8mm

パラメータ設定キー

③ モード (MODE)

④ アップ (UP)

⑤ ダウン (DOWN)

⑥ セット (SET)

比較出力設定キー(出力ランプ付)

⑦ アラーム1 (AL1) ※比較出力付の場合のみ付きます。

⑧ アラーム2 (AL2) ※2点または4点比較出力付の場合のみ付きます。

⑨ ゴーランプ (GO) ※4点+GO出力付の場合のみ付きます。(ランプのみ)

⑩ アラーム3 (AL3) ※4点または4点+GO出力付の場合のみ付きます。

⑪ アラーム4 (AL4) ※4点または4点+GO出力付の場合のみ付きます。

■ パラメータ設定

● 設定方法

1	[M] 3秒押す	パラメータ1を表示	- - 1 -
2	[S] 1回押す	パラメータ1の設定状態	1 0
3	[A] および [▼]	設定変更	1 5
4	[S] 1回押す	パラメータ2を表示	- - 2 -
5	順次2、3、4の繰り返しで各パラメータを設定します。		

※1 途中で [M] を押した場合、または、60秒間設定変更がない場合に計測表示に戻ります。この場合、[S] を押した時点まで内部記憶します。

■ 比較出力値設定

● 設定方法 (M□41を除く)

1	[AL1] または [AL2] [AL3] [AL4] 3秒押す	設定値表示	0
2	[A] および [▼]	任意に変更	1 2 3 4
3	[S] 1回押す	計測表示状態に戻る	5 6 7 8

※1 途中で [M] を押した場合、または、60秒間設定変更がない場合に計測表示に戻ります。

● 設定値確認方法 (M□41を除く)

[AL1] または [AL2] [AL3] [AL4] 3秒押す	アラーム1 設定値表示	1 2 3 4
----------------------------------	----------------	---------

※1 途中で [M] または [AL1] (または [AL2] [AL3] [AL4]) を押した場合、または、60秒間キー操作がない場合に計測表示に戻ります。

■ テストモード

● 操作方法

1	[M] 押し続け電源投入	displayチェックを表示	- d P -
2	[▲] [▼]	希望の項目を選択し [S] を押す	
3	順次2の繰り返しでテストを行う。		

※1 途中で [M] を押すと通常状態になります。

- d P -	Displayチェック	モニター7セグLEDの点灯確認を行います。
- I n -	Inputチェック	入力端子とCNT端子の動作確認を行います。
- A L -	Alarmチェック	AL1とAL2を押し各出力とランプ点灯を行います。
- L n -	Linearチェック	リニア出力を0/25/50/75/100(%)出力します。
- C o -	Commチェック	通信状態のチェックを行います。

パラメータ一覧表

MR41/MR43/MR45

タコメータ

※	NO	名称	設定範囲
	--1-	入力スピードフィルタ	1/2/3/4
	--2-	掛算係数 (m)	0.0001~99999
	--3-	掛算係数 (k)	1~99999
	--4-	割算係数 (n)	0.0001~99999
	--5-	小数点位置	0/0.0/0.00/0.000/0.0000
	--6-	表示周期 (sec)	0.1/0.2/0.5/1/2/3/4/5
	--7-	表示移動平均回数	1~10
	--8-	ゼロリセット時間 (sec)	1~1000
	--9-	セットゼロ機能 (digit)	oFF/1~99999
	-10-	ホールド機能 (HOLD端子)	oFF/1~4/11~14/21~24
	-11-	予測演算機能	oFF/on
	-12-	表示値ゼロ固定 (digit)	oFF/5/10/100
A	-R1-	ヒステリシス (digit)	oFF/2~9999
A	-R2-	パワーON禁止機能	oFF/L/SEC (SEC→0.1~99.9sec)
A	-R3-	出力遅延時間 (sec)	oFF/0.1~99.9
A	-R4-	比較出力時間	H/L
L	-L1-	リニア出力上限値	-19999~99999
L	-L2-	リニア出力下限値	-19999~99999
L	-L3-	リニア出力時間	H/L
C	-C0-	プロトコル切替	A : HENIX方式/b : MODBUS-RTU
C	-C1-	ユニットNO	00~99
C	-C2-	通信遅延時間 (msec)	oFF/on (on→10~500)
C	-C3-	通信速度 (bps)	1200/2400/4800/9600/19.2/38.4
C	-C4-	データ長 (bit)	7/8
C	-C5-	ストップビット (bit)	1/2
C	-C6-	パリティチェック	oFF/1 : 奇数/2 : 偶数
C	-C7-	BCCチェック	oFF/on
C	-C8-	連続出力	oFF : 応答式/on : 連続送信
	-P-	キープロテクト	oFF/on (on→A/P)

※ 出力内容により表示されない項目
 A : 比較出力付でのみ設定 L : リニア出力付でのみ設定
 C : 通信出力付でのみ設定

(注) MR43シリーズは4桁表示のため上記設定範囲も4桁範囲内となります。

内部演算式と設定例 (MR41/43/45)

設定例1 : 200(p/r)のロータリーエンコーダで回転数(×××.×rpm)表示する。

パラメータ2	掛算係数(m)	10	※
パラメータ3	掛算係数(k)	60	
パラメータ4	割算係数(n)	200	
パラメータ5	小数点位置	0.0	

※パラメータ5は単に小数点の点灯位置を決めるもので、パラメータ2 (またはパラメータ3) を×10する必要があります。

設定例2 : 1440Hz入力で、200.0(m/min)表示する。
 パラメータと内部計算式は以下の通りです。

$$\begin{aligned} \text{表示値} &= \frac{(m) \times (k)}{(n)} \times (\text{入力周波数 Hz}) \\ &= \frac{1 \times 2000}{1440} \times 1440 \\ &= 2000 \rightarrow 200.0(\text{m/min}) \end{aligned}$$

パラメータ2	掛算係数(m)	1
パラメータ3	掛算係数(k)	2000
パラメータ4	割算係数(n)	1440
パラメータ5	小数点位置	0.0

※上記の場合、オートスケーリングを使えば簡単に自動設定できます。

MJ41/MJ43/MJ45

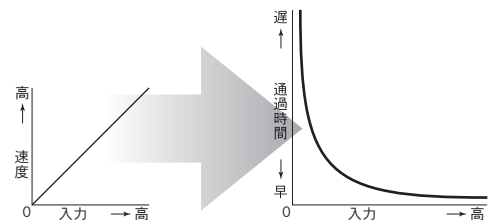
通過時間計

※	NO	名称	設定範囲
	--1-	入力スピードフィルタ	1/2/3/4
	--2-	小数点位置	99-59/9.59.59/999.59 0/0.0/0.00/0.000/0.0000
	--3-	掛算係数 (m)	0.0001~99999
	--4-	割算係数 (n)	0.0001~99999
	--5-	表示周期 (D)	1~99999
	--6-	表示周期 (sec)	0.1/0.2/0.5/1/2/3/4/5
	--7-	表示移動平均回数	1~10
	--8-	ゼロリセット時間 (sec)	1~1000
	--9-	表示値ゼロ固定 (digit)	oFF/5/10
	-10-	ホールド機能 (HOLD端子)	oFF/1~4/11~14/21~24
	-11-	セットゼロ機能	oFF/1~99999
A	-R1-	ヒステリシス (digit)	oFF/2~9999
A	-R2-	パワーON禁止機能	oFF/L/SEC (SEC→0.1~99.9sec)
A	-R3-	出力遅延時間 (sec)	oFF/0.1~99.9
A	-R4-	比較出力時間	H/L
L	-L1-	リニア出力上限値	1~99999
L	-L2-	リニア出力下限値	1~99999
L	-L3-	リニア出力時間	H/L
C	-C0-	プロトコル切替	A : HENIX方式/b : MODBUS-RTU
C	-C1-	ユニットNO	00~99
C	-C2-	通信遅延時間 (msec)	oFF/on (on→10~500)
C	-C3-	通信速度 (bps)	1200/2400/4800/9600/19.2/38.4
C	-C4-	データ長 (bit)	7/8
C	-C5-	ストップビット (bit)	1/2
C	-C6-	パリティチェック	oFF/1 : 奇数/2 : 偶数
C	-C7-	BCCチェック	oFF/on
C	-C8-	連続出力	oFF : 応答式/on : 連続送信
	-P-	キープロテクト	oFF/on (on→A/P)

※ 出力内容により表示されない項目
 A : 比較出力付でのみ設定 L : リニア出力付でのみ設定
 C : 通信出力付でのみ設定

内部演算式と設定例 (MJ41/43/45)

通常、速度は入力に比例して高入力時は高速になりますが、通過時間計は入力に反比例するため速度を上げれば通過時間は小さくなります。



設定例 : 600Hz入力で、「5-00」(5分00秒)表示する。
 パラメータと内部計算式は以下の通りです。

$$\begin{aligned} \text{表示値} &= \frac{(m) \times (D)}{(n)} \times \frac{1}{(\text{入力周波数 Hz})} \\ &= \frac{600 \times 300}{1} \times \frac{1}{600} \\ &= 300 \rightarrow 5-00 (5分00秒) \end{aligned}$$

パラメータ2	小数点位置	99-59
パラメータ3	掛算係数(m)	600
パラメータ4	割算係数(n)	1
パラメータ5	掛算係数(D)	300

※上記の場合、オートスケーリングを使えば簡単に自動設定できます。

比較出力パラメータ (比較出力付きの場合)

比較出力AL1~AL4について、それぞれ個別に比較出力に関する項目を設定。

□AL1の設定 (下記はAL1の場合でAL2~4も同内容を設定)

NO	名称	設定範囲
R1-1	出力形態	H : AL1 上限出力 / L : AL1 下限出力 burn : AL1 断線警報 ※1 / oFF : AL1 出力なし
R1-2	出力動作	oFF : 常時比較 (通常動作) on : 保持出力 (比較出力ホールドあり)

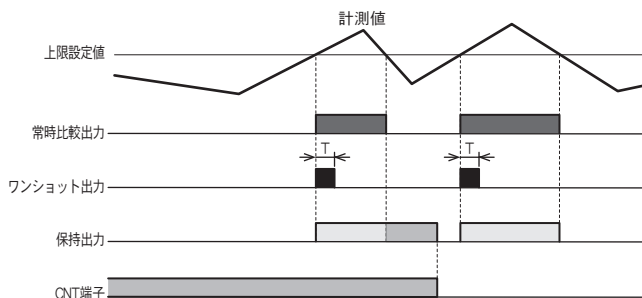
※1 MF41/43/45の場合のみ設定。

<MR55の場合>

□AL1の設定 (下記はAL1の場合でAL2~4も同内容を設定)

NO	名称	設定範囲
R1-1	出力形態	1. H : AL1 上限出力 / L : AL1 下限出力 / L.oFF : AL1 出力なし
R1-2	出力動作	A : 常時比較 / b : 保持出力 C : ワンショット (C→0.001~9.999)

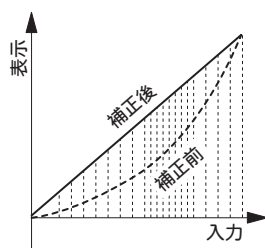
○比較出力の形態と動作



- ・常時比較出力は設定値と計測値を比較し出力します。
下限出力ON : 計測値 ≤ 設定値、上限出力ON : 設定値 ≤ 計測値
- ・ワンショット出力はT秒間(出力時間0.001~9.999秒)出力します。
上限出力の場合 : 下から上へ設定値を超えた地点で出力
下限出力の場合 : 上から下へ設定値を超えた地点で出力
- ・保持出力は1度出力状態になれば計測値の変動に関係なくOFFしません。
(CNT端子がONの場合)
- ・各出力共にヒステリシスや出力遅延時間が動作します。

リニアライズパラメータ (MA/MR オプション選定)

20点の入力信号と表示値を設定することによりリニアリティのない曲線を1次折線補正します。表示値の調整はオートスケーリングでも可能。
また、直線に補正した後、補正したリニア出力が可能。



最大20点の入力-表示の組合せを任意に設定。

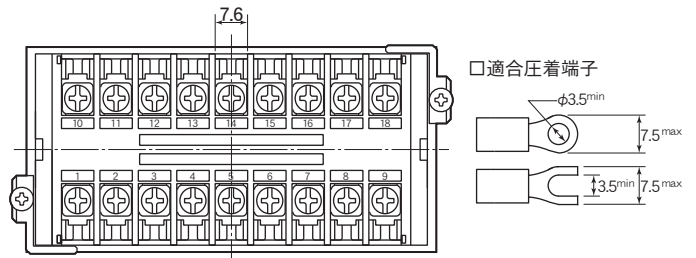
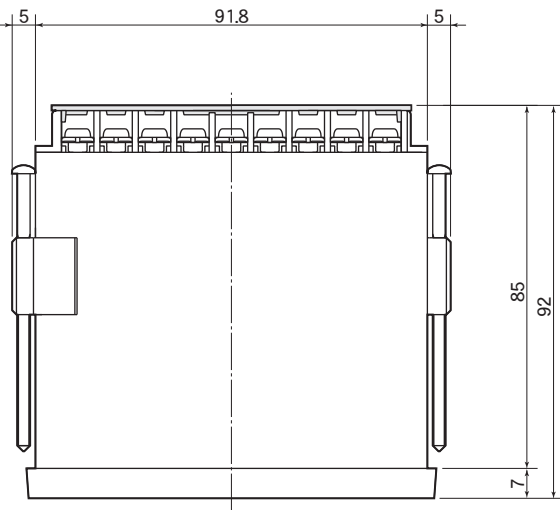
リニアライザー (オプション : -L) 選定時に入力信号と表示値の関係を最大20点リニアライズパラメータで設定します。

NO	名称	設定範囲
-L-	実行の有無	oFF/on/CLr
[1]	1点目の入力信号	MA45の場合 -19999~-----~0.0001~99999 MR45の場合 -----~0.0001~99999
	1点目の表示値	MA45の場合 -1.9.9.9.9~ 0~9.9.9.9.9. MR45の場合 0~9.9.9.9.9.
[2]	2点目の入力信号	(1点目の入力信号と同じ)
	2点目の表示値	(1点目の表示値と同じ)
}	(必要に応じて20点まで設定が可能)	
[20]	20点目の入力信号	(1点目の入力信号と同じ)
	20点目の表示値	(1点目の表示値と同じ)

(注) MA43/MR43は4桁表示のため上記設定範囲も4桁範囲内となります。
また、MR55も同様に6桁範囲内となります。

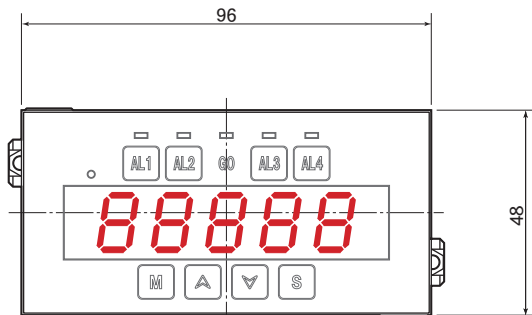
外形寸法図

MA45/MF45/MR45/MJ45/MR55

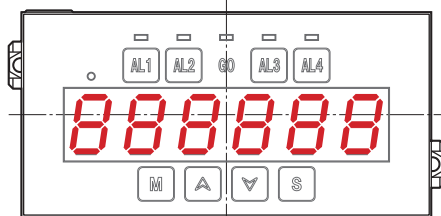


端子部 ※端子ねじM3.5

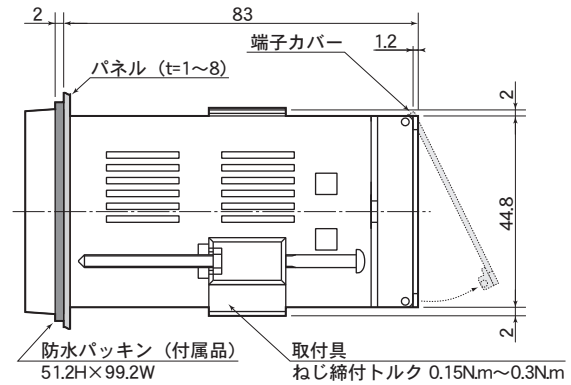
- 端子カバー付属 (脱着可能)
- ・上側又は下側に開閉可能。
- ・カバー装着後の配線が可能。



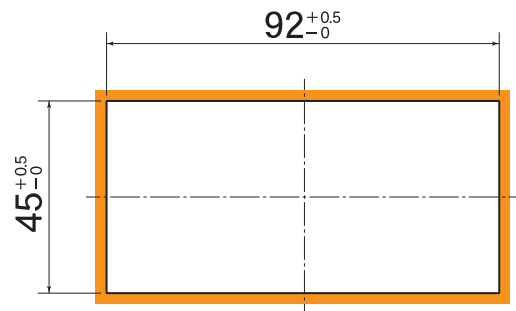
MA45/MF45/MR45/MJ45



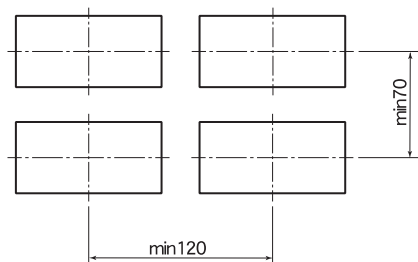
MR55



●パネルカット



□密着取付ピッチ



(単位: mm)

●単位シール

rpm	m/min	rps	kHz	Hz	s ⁻¹	min ⁻¹	h ⁻¹	r/s	r/h
r/min	m/sec	cm/min	cm/sec	%	m/h	m ³ /s	m ³ /h	g/s	L/h
Pa	kg/cm ²	m ³ /min	mmHg	mmH ₂ O	L/s	mL/s	kg/min	kg/h	kPa
A	mA	μA	kV	V	MPa	m	cm	mm	kg
mV	kW	W	°C	°F	g	t	L	m ³	mL
min	sec	l/min	mL/min	g/min	h	X10	X100	N	min:sec

※以下の製品に付属します。

MA43/MF43/MR43/MJ43、MA45/MF45/MR45/MJ45/MR55

メータ間通信

上位PC不要で当社メータの表示値を大型表示盤や別の場所のメータへ転送します。

配線は2線（RS485）だけの省配線。通信プログラム不要。

対応機種：MF43-T/MF45-Tなど当社製品の通信出力付やMG36(通信表示器)や大型表示システムなど。

(選択例)



OEM 製品のご案内

お客様の仕様にあったOEM製品の設計・製作を行いますのでお気軽に当社営業部までお問い合わせください。



安全にご使用していただくために製品付属の「取扱説明書」をよくお読みください。

1. 入力に最大許容値以上の電圧や電流を加えると機器の破損につながります。
2. 電源電圧は使用可能範囲内でご使用ください。使用可能範囲外で使用になりますと火災・感電・故障の原因となります。また、頻繁な電源の入切は避けてください。

■ ご使用にあたっての注意事項

1. 設置場所は下記の場所を避けて下さい。
 - ・直射日光が当たる場所や周囲温度が-10～50℃の範囲を越える場所
 - ・腐食性ガス（特に硝化ガス、アンモニアガスなど）や可燃性ガスのある場所
 - ・塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
 - ・振動、衝撃の激しい場所
 - ・相対湿度が25～85%の範囲を越える場所や温度変化が急激で結露するような場所
 - ・水、油、薬品などの飛来がある場所
 - ・ラジエーションノイズの影響が考えられる場所
2. 各種アナログ出力機器との接続についてノイズによる誤動作防止として次の対策をとって下さい。
 - ・入力ラインに1芯シールド線を御使用下さい。
 - ・入力ラインは高圧線や動力線との平行配線、同一電線管配線を避け、必ず単独配管とし、できるだけ短く配線して下さい。
3. 供給電源について
電源に大きなノイズがのっている場合には、誤動作の原因になりますのでノイズカットトランスなどを御利用下さい。
4. 取付角度はできる限り水平に取り付けてください。

※本カタログの内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。

<https://www.henix.co.jp>

Henix
ヘニックス株式会社



本社 〒572-0038 大阪府寝屋川市池田新町1番25号
TEL 072-827-9510 FAX 072-827-9445
E-mail : sales@henix.co.jp